

「人生のやる気デザイン」研究部会（第21回）

日時：2022年2月28日（月）13：00～15：40

場所：オンライン（Zoom使用）

出席：渡辺弥生・榎本淳子・中井大介・中谷素之・杉本希映 各兼任研究員
吉久知延所長・山口和人・金沢千秋・泉水里香（野間教育研究所事務局）

欠席：倉住友恵

内容：（1）渡辺研究員：「思いやり育成プログラム」としての成果と今後の方向性をまとめた
「日本の教育にSELを定着させるには」（法政大学・大学院ライフスキル
教育研究所・大学院）を発表

1. 「思いやり育成プログラム（Voices of Love and Freedom：VLF）」が静岡県の人権教育に採用され、幼稚園や小学校でモデル授業が実施された
2. ソーシャルスキルトレーニング（Social Skills Training）が総合的な学習、LHR、道徳など特別活動や、適応指導教室、非行防止などで活用されてきた
3. ソーシャルエモショナルラーニング（Social Emotional Learning：SEL）の育成について、カリフォルニア大学サンタバーバラ校での体験と報告
4. SELのガイドライン、定着、研修方法や今後の課題

（2）中谷研究員：「児童と教師における文化的・発達の多様性の受容—多文化包摂コンピテンスの視点から」の研究報告

1. 日本では外国人児童生徒の数が急激に増え、多様性の拡大が生じている。その状況下で、教師が通常の教室における「自分とは異なる他者」の受け入れに関わる要因を検討
2. 上記に関する先行研究の紹介
3. 児童における「多文化包摂コンピテンス」測定尺度の開発と発達の变化の調査
4. 教師の「多文化包摂コンピテンス」測定尺度化の実施と検討

（3）杉本研究員報告：「目標を追求することの是非を考える」について2論文を紹介

- ①外山美樹・長峯聖人「人は困難な目標にどう対処すべきか？—困難な目標への対処方略尺度を作成して—」（2022年、心理学研究）
- ②ホープ理論：加藤 司、Snyder C. R. 「ホープと精神的健康との関連性—日本版ホープ尺度の信頼性と妥当性の検証—」（2005年、心理学研究，76(3)，227-234.）